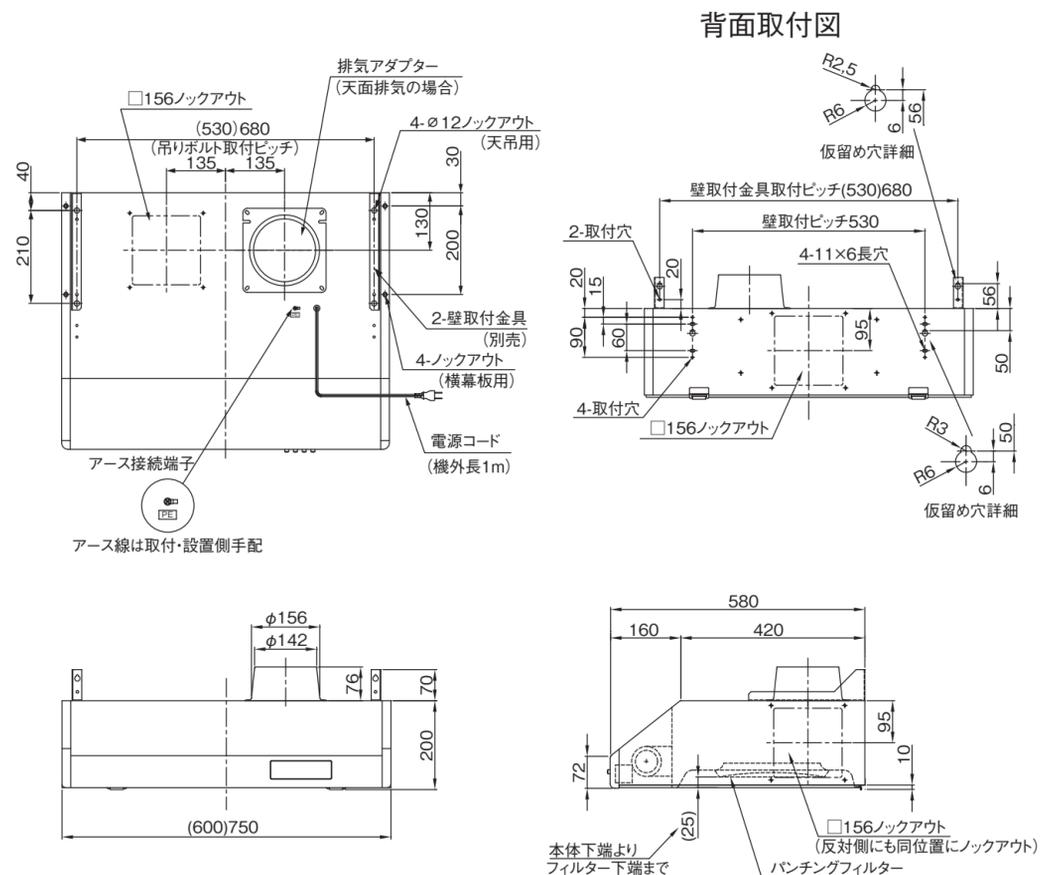


# 7

## 外観寸法図 (取付寸法図)



※特注仕様の場合、各寸法が異なる場合があります。  
 ※機種によってはアース接続端子を設けていない場合があります。

# 8

## 電気配線



分解・修理・改造禁止

- 修理技術者以外は、絶対に分解したり修理・改造しないこと  
 発火・感電したり、異常作動してけがをすることがあります。



アースを取り付ける

- アースを確実に取り付けること  
 故障や漏電のときに感電することがあります。アースの取り付けは販売店にご相談ください。



使用禁止

- 交流 100V 以外では使用しないこと  
 火災・感電の原因になります。



取付注意

- 配線の接続は、「電気設備技術基準」や「内線規定」に従って安全・確実に行うこと  
 誤った配線接続は感電や火災のおそれがあります。

1. コンセントは125V・15Aのものを設置してください。
2. 必ずアース (D種接地) をしてください。  
 アース接地位置は「外観寸法図」を参照ください。  
 ※アース線は取付・設置側にて手配してください。
3. 電源プラグをコンセントに差し込みます。

# 9

## 試運転



注意



接触禁止

- 運転中は危険ですから羽根の中に指や物を入れないこと  
 けがをしたり、故障の原因となります。

- 1 本体の各操作スイッチを押し、運転状態を確認してください。スイッチの操作、運転状態等については取扱説明書をご覧ください。
- 2 運転時、各速調の排気が正しく行われていること。
- 3 屋外の排気出口から排気されていることを確認してください。
- 4 取付け又は設置上に発生した不具合で修理を依頼されますと全て有料となりますので十分確認してください。

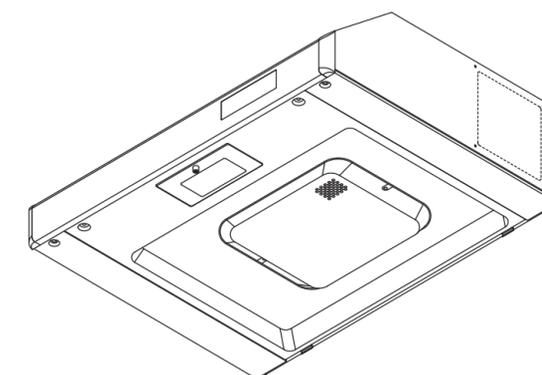
# 10

## お客様への説明

- 1 取扱説明書によって機器の取り扱いを説明してください。
- 2 取扱説明書と共に、この取付・設置説明書を必ずお客様へお渡しください。

# 取付・設置説明書

## 浅型フード (ターボファン)



- 取り付けの前に、この説明書をよくお読みのうえ、正しく取り付けを行ってください。
- ここに示した注意事項は、製品を安全に正しく取り付け、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

本文中に使われている図記号の意味は次のとおりです。

	「禁止」事項
	指示に従う
	分解・修理・改造禁止
	接触禁止
	電源プラグを抜く
	水場での使用禁止

(WFT)

# 安全のため必ずお守りください

安全に使用していただくための重要な項目ですので必ずお読みください。

- ここに示した事項は、安全に関する重大な内容の記載です。表示と意味は次のようになっています。
- 警告** 誤った取り扱いをしたときに、死亡や重傷等の重大な結果に結び付く可能性が大きいもの。
- 注意** 誤った取り扱いをしたときに、傷害を負う危険または物的損害に結び付く可能性があるもの。



株式会社 渡辺製作所

〒104-0031 東京都中央区京橋1-6-11  
 カンケン京橋ビル5F

■東京支店 TEL (03) 3538-6690 FAX (03) 3538-6691

K4200913

# 警告

**修理分解はしない**

- 修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理改造は行わないで下さい。発火・感電したり、異常作動しけがをする恐れがあります。

**お手入れは「切」にしてから**

- お手入れや電球の交換の際は、必ず電源プラグを抜く、または分電盤のブレーカーを切って行ってください。(分電盤のブレーカーを切る場合は、他機器の電源も切れるおそれがあります。)ぬれた手で触らないでください。感電や、けがの恐れがあります。

**水・洗剤等の液体についたり、かけたりしない**

- 水・洗剤等の液体についたりかけたりしないでください。ショート・感電や火災の恐れがあります。

**ガスものときはスイッチを入れない**

- ガスもの時は換気扇スイッチを入切しないでください。ガス爆発の原因となります。

**交流100V以外では使用しないこと**

- 火災の原因になります。

**レンジフード本体と排気ダクトは、可燃物との距離を10cm以上離すか、不燃材料を使用して可燃物を覆う必要があります。**

- ※詳しくは、所轄の消防署へ確認ください。

# 注意

**調理中や運転中に部品をはずさない**

- 調理中や運転中に、パンチングフィルター及び周辺の部品等をはずそうとしないでください。落下によりけがをする恐れがあります。

**部品の取り付けは確実に**

- 部品の取り付けは確実に行ってください。落下によりけがをする恐れがあります。

**部品を扱うときは厚手の手袋使用**

- 部品を取りはずすときや、洗うときは必ず厚手の手袋を着用してください。金属端面などでけがをする恐れがあります。

**電源プラグは確実に差し込む**

- 電源プラグはコンセントに確実に差し込んでください。火災の原因になります。

**運転中は指や物を入れない**

- 運転中は危険ですから、レンジフード本体の中に指や物を入れないでください。けがの恐れがあります。

**電源コードを傷めない**

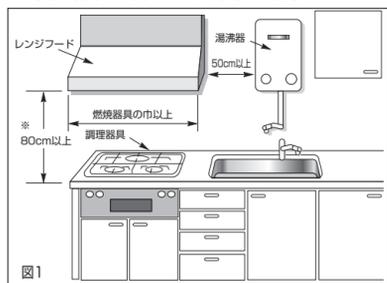
- 電源プラグを抜くときは、電源コードを持って引き抜かないでください。電源コードが断線し、火災の原因になります。

**レンジフードにのらない**

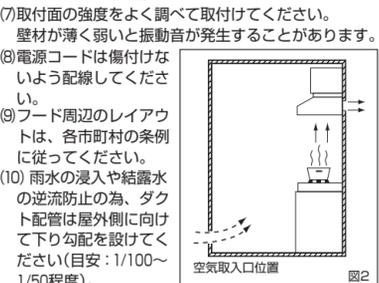
- レンジフードにのったり、ぶら下がることはやめてください。落下によりけがをする恐れがあります。

## お取付前の注意事項

- 1) 部屋全体の換気には他の換気扇(ダクト用換気扇、または一般用換気扇)を併用してください。(レンジフードは局所換気専用です。)
- 2) 取付・設置の際は厚手の手袋を使用してください。
- 3) 取付高さは標準80cmです。(但し、消防法により規制される場合がありますので注意してください)。製品は調理器具の真上に取付け、取付高さは調理器具より80cm(※)の高さに取付けます。高すぎると排気効果が低下し、低すぎると台所での仕事のさまたげ



- 4) 湯沸器の上部は高温になるので、湯沸器の真上には取付けしないでください。(図1)
- 5) ダクト排気するときはダクト抵抗の確認が必要です。
- 6) 空気の取入口を設けてください。密閉された部屋で使用の場合は、空気取入口を設けます。空気取入口の位置はレンジフードと反対側に設け、大きさは排気口の大きさ(□156mm)以上にしてください。(図2)

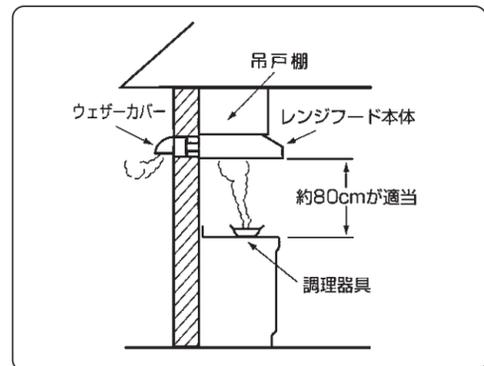


- 7) 取付面の強度をよく調べて取付けてください。壁材が薄く弱いと振動音が発生することがあります。
- 8) 電源コードは傷付けないよう配線してください。
- 9) フード周辺のレイアウトは、各市町村の条例に従ってください。
- 10) 雨水の浸入や結露水の逆流防止の為、ダクト配管は屋外側に向けて下り勾配を設けてください(目安: 1/100~1/50程度)。

# 取付け方法

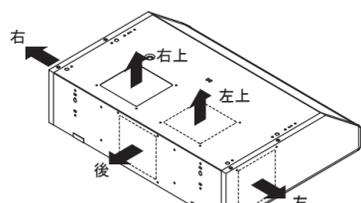
## 1 取付位置を決めてください。

調理器具の真上 80cm 位の所に取付けてください。



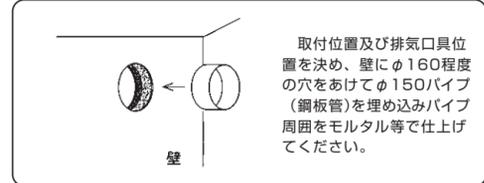
## 2 排気方向を決める

下図のように排気口は5ヶ所あります。(標準で右上が開いてあります)

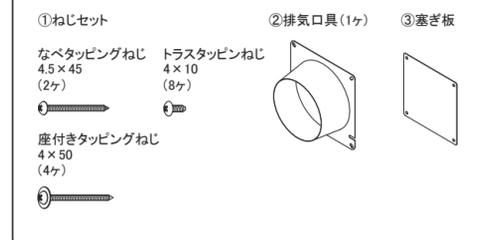


- ※1 右上排気以外を使用する場合はノックアウトを抜いて下さい。
- ※2 上排気の場合、別売のエルボを使用すると3方向(後、右、左)可能となります。

## 3 壁に穴をあけダクトを取付けてください。

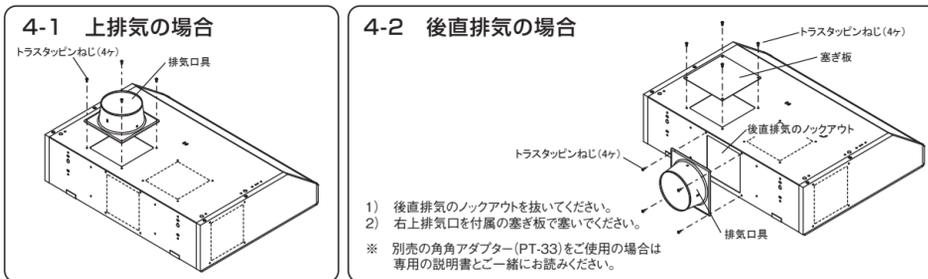


■付属品を確認してください。

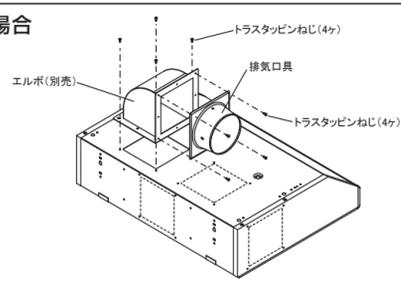


## 4 排気口具を取付ける

排気口具を取付ける際には、排気口具に貼付けてある「ご注意」をお読みの上取付けてください。



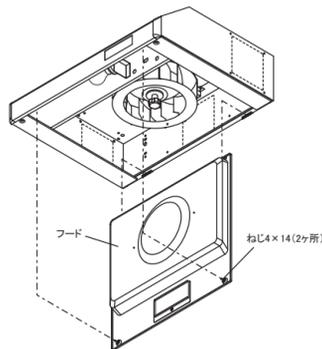
### 4-3 エルボ(別売)を使用する場合



※ 別売のエルボ(PL-150)を使用すると後、左、右排気が可能となります。

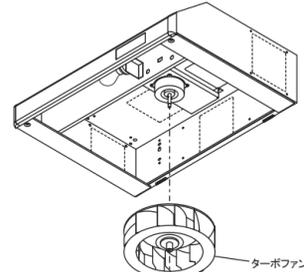
## 5 本体を取付ける

### 5-1 フードをはずす



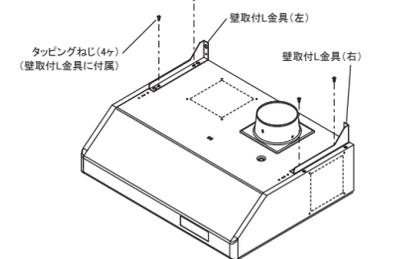
フードを止めているねじ4×14 (2ヶ所)を緩めて下まで下げて、持ち上げるようにして手前に引いてください。

### 5-2 ターボファンをはずす



ターボファンを支えながらスピナーを「ユルム」の方向に回してはずすのち、ファンを軸より抜いてください。 ※「ユルム」については、スピナーに記載しています。

### 5-3 壁取付金具(別売)を使用する場合



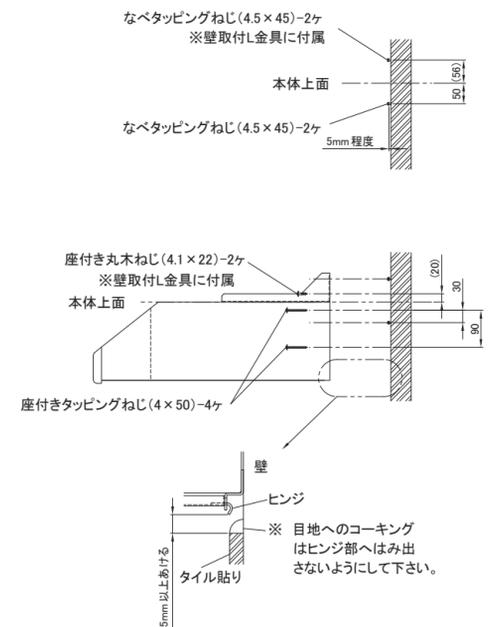
別売の壁取付金具(PK-03)をご使用の場合壁取付金具(右、左)を本体にタッピングねじ(5×10)で4ヶ所固定してください。

## 5-4 壁取付の場合

取付面について

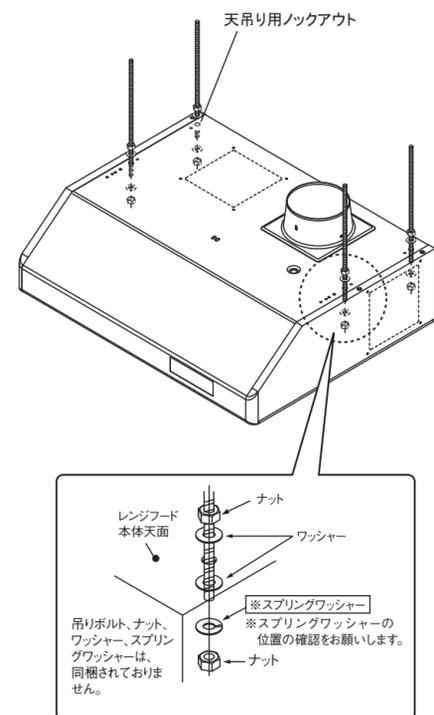
- 木質壁の場合は、取付面の板厚は20mm以上。それ以下の場合には、壁に補強板を埋め込み補強を施してください。
- コンクリート、タイル壁の場合は、あらかじめ壁に補強板を埋め込んでおくか、カールブラグ等を使用してください。

- 1) 本体仮止め位置をケガいたところ(2ヶ所)に頭を5mm程度浮かせて、なべタッピングねじ(4.5×45)をねじ込みます。
- ※ 別売の壁取付L金具(PK-03)をご使用の場合は、()寸法の位置に金具に付属のなべタッピングねじ(4.5×45)をねじ込みます。
- 2) このねじに本体を引っ掛けて増締めして固定した後、座付きタッピングねじ(4×50)で他の4ヶ所も固定します。
- ※ 別売の壁取付L金具(PK-03)をご使用の場合は、()寸法の位置に金具に付属の座付き丸木ねじ(4.1×22)で他の2ヶ所も固定します。



## 5-5 天井吊りの場合

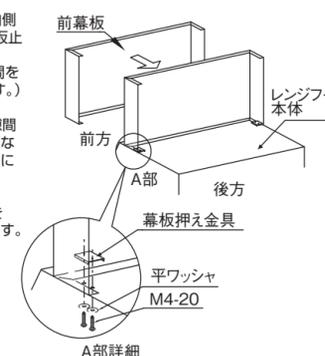
- 1) 本体の天井吊り用ノックアウト(4ヶ所)を打ち抜きます。
- 2) 本体の上面の位置を決めて上下でナットとワッシャー、スプリングワッシャーとで固定します。



## 6 前幕板(別売)・横幕板(別売)の取付け方法

### 6-1 前幕板のみ使用の場合

- 1) 幕板押え金具を本体内側からM4-20のねじで仮止めます。(本体と押え金具の隙間を3~5mm程度にします。)
- 2) 前方から押え金具の隙間に前幕板を差込み必要の奥行き寸法になるように調整します。
- 3) 幕板押え金具のねじをしっかりと締め完了です。



### 6-2 横幕板を使用する場合

- 1) 本体後面のノックアウト(φ6×10長さ)4ヶ所を本体外側から内側へ向けて打抜いてください。
- 2) 横幕板を本体内側からM4-10のねじ2本で固定します。
- 3) 横幕板を木ねじで後面壁面に固定します。 ※注1 (上面にも固定すると筐体強度が増しますが、上面固定は各市町村の条例に従ってください。)
- 4) 6-1の手順に従い、前幕板を取付けてください。(横幕板が前幕板の内側へ入り込み、重なり合います。)

